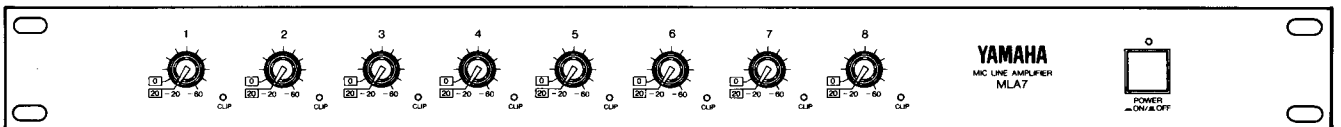


YAMAHA

MIC LINE AMPLIFIER MLA7

取扱説明書



このたびは、YAMAHAマイクラインアンプリファイアーMLA 7をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
MLA 7は、デジタルミキシングプロセッサ-DMP 7や、その他のアンバランス入力機器に対して、高品質のマイクロホンや平衡ラインレベル出力機器の接続を可能にします。8チャンネル対応のマイク/ラインアンプです。各チャンネルにパッドスイッチとゲインコントロール、ファントム電源スイッチを装備しています。
ご使用前に、この説明書をよくお読みくださいますよう、よろしくお願いいたします。

目 次

ご使用上の注意.....	2
各部の名称と働き.....	3
仕様.....	4
寸法図.....	5
サービスについて.....	6

ご使用上の注意

●設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- ・温度の特に低い場所。
- ・湿気やホコリの多い場所。
- ・振動の多い場所。

●無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

●電源について

- ・本機は日本国内仕様です。必ず、AC100V(50Hzまたは60Hz)の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源では絶対にご使用にならないでください。
- ・POWERスイッチは、送信機器側から順にONにしてください。

●接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行なうか、または各ボリュームを絞ってから行なってください。

●XLRタイプコネクタについて

本機のINPUT端子のXLRタイプコネクタは、IEC規格にもとづき配線されており、1番シールド(アース)、2番ホット、3番コールドの接続形式です。

●ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

●外装のお手入れについて

外装をベンジンやシンナーなどの揮発油で拭いたり、近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。

●落雷に対する注意

落雷の恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

●保証書の手続きを

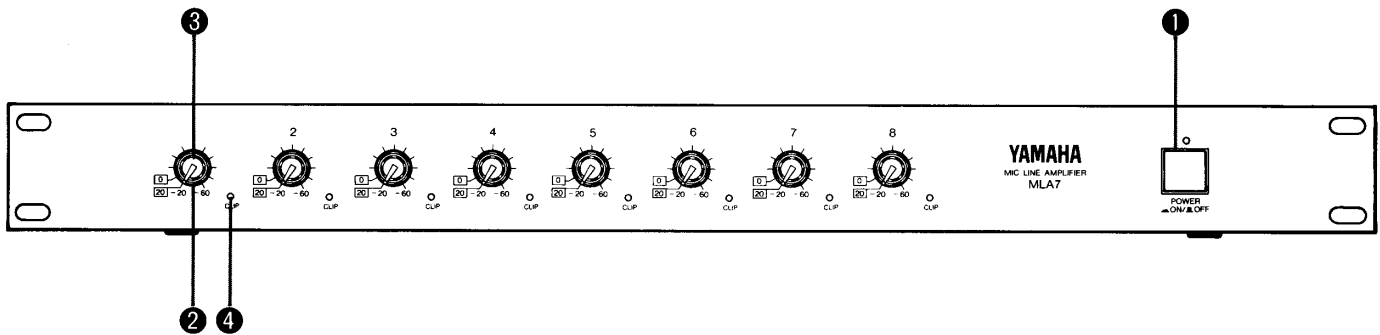
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。

●保管してください

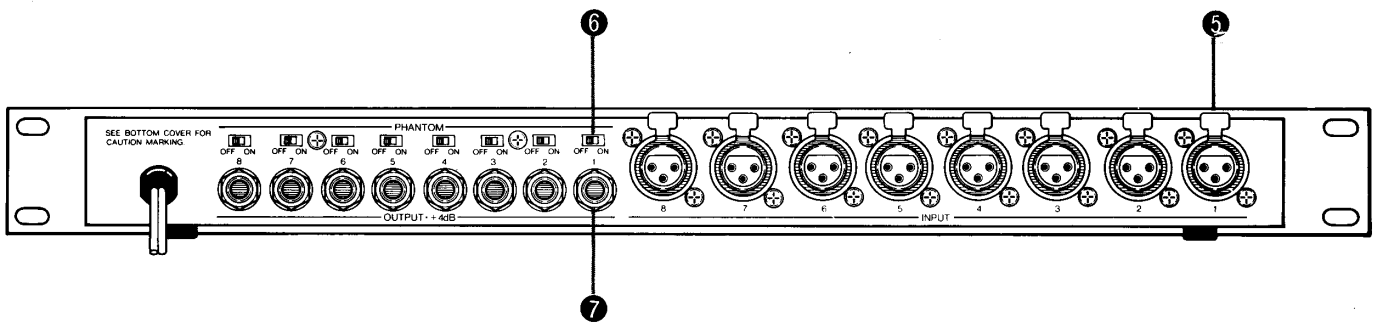
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

各部の名称と働き

・フロントパネル



・リアパネル



①POWERスイッチ

電源スイッチです。ONにすると、スイッチ上部のPOWERインジケータが点灯します。

②パッドスイッチ

入力した信号のレベルを、20dB減衰させるためのスイッチです。“20”ポジションがスイッチON、“0”ポジションがスイッチOFFです。

③ゲインコントロール

入力感度を調整するためのつまみです。パッドスイッチとの関係により、規定入力レベルが次のように変わります。

パッドスイッチ	規定入力レベル
0	-60dB(0.775mV)~-20dB(77.5mV)
20	-40dB(7.75mV)~0dB(775mV)

④CLIPインジケータ

ゲインコントロール後のピークを検出します。クリッピングレベルの3dB手前で点灯し、クリッピングレベルに近づいたことを知らせます。

⑤INPUT端子

規定入力レベルは-60dB ~ 0dBで、出力インピーダンス50Ω~250Ωのマイクロホンおよび600Ωのライン機器に対応します。平衡入力端子です。

⑥PHANTOMスイッチ

外部電源仕様(+48V)のコンデンサーマイクロホンを接続したチャンネルは、このスイッチをONにします。ONにすると、2, 3番ピンにDC48Vが供給されます。

※スイッチONの状態、平衡型のダイナミックマイクロホンやライン機器を接続してもさしつかえありませんが、不平衡回路やトランスのセンターがアースされている回路の接続は、ハムなどの原因となるばかりでなく、故障の原因となりますので、使用しているとき以外は必ずOFFにしておいてください。

⑦OUTPUT端子

不平衡出力端子で、規定出力レベルおよび適合インピーダンスは+4dB/10kΩです。

※DMP7のゲインコントロールは、+4dBのポジションにセットしてください。

※接続ケーブルは、極力短くしてください。

仕様

周波数特性

20Hz~20kHz $0 \pm \frac{1}{3}$ dB @ 10k Ω , +4dB

全高調波歪率

0.1%以下 (20Hz~20kHz) @ 10k Ω , +4dB

ハム&ノイズレベル*1 (20Hz~20kHz, $R_s=150\Omega$)

入力換算ノイズ -128dB(パッド0, ゲイン最大)

入力換算ノイズ -87dB(パッド20, ゲイン最小)

最大電圧利得

64dB (INPUT→OUTPUT)

クロストーク

チャンネル間 -70dB以下 (1kHz, 10kHz, $R_s=150\Omega$)

コントロール

パッド(20dB), ゲイン(-60~-20), ファントム電源スイッチ(+48V), 電源スイッチ

CLIPインジケータ

クリッピングレベルの3dB手前で点灯

電源	AC100V(±10%) 50/60Hz
消費電力	17W
寸法(W×H×D)	480mm×45.5mm×231.6mm
重量	3kg

*1 @12.7kHz, -6dB/oct.のLPFで補正

・0dB=0.775Vr.m.s.

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■入・出力仕様

・入力仕様

入力端子	入カインピーダンス		ソースインピーダンス	感度*2 (最大ゲイン)	入カレベル		使用コネクタ	
	PAD	GAIN			規定レベル	最大ノンクリップレベル		
INPUT	0	-60	4k Ω	50~250 Ω マイクまたは 600 Ω ライン	-60dB(0.775mV)	-60dB(0.775mV)	-44dB(4.88mV)	XLR-3-31タイプ (平衡)
	0	-20		600 Ω ライン	-20dB(77.5mV)	-20dB(77.5mV)	-4dB(488mV)	
	20	-20		600 Ω ライン	0dB(775mV)	0dB(775mV)	+16dB(4.88V)	

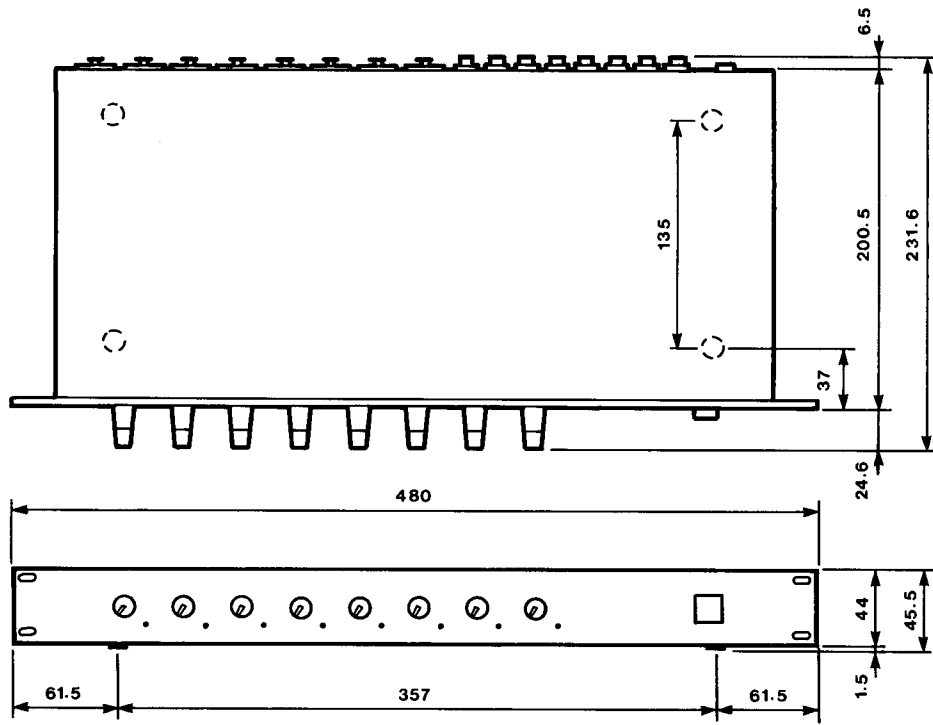
・出力仕様

出力端子	出カインピーダンス	負荷インピーダンス	出カレベル		使用コネクタ
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
OUTPUT	150 Ω	10k Ω ライン	+4dB(1.23V)	+20dB(7.75V)	ホーンジャック (不平衡)

*2 感度は、規定出力レベル(+4dB=1.23V)を得るために必要な入力レベルです。

・0dB=0.775Vr.m.s.

寸法図



単位 : mm

サービスについて

■ お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談・あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

■ 保証書

本機には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、本機の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■ 調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

● お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

<音響システム事業部 営業部>

東 京 営 業 所	☎ 03-5488-5480	〒108	東京都港区高輪2-17-11
大 阪 営 業 所	☎ 06-647-8359	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル
名 古 屋 営 業 所	☎ 052-232-5744	〒460	名古屋市中区錦1-18-28
九 州 営 業 所	☎ 092-412-5556	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
仙 台 営 業 所	☎ 022-222-6214	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
本 社 国 内 営 業 課	☎ 053-460-2455	〒430	浜松市中沢町10-1

<国内営業統括本部>

北海道支店 L M営業課	☎ 011-512-6113	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台支店 L M営業課	☎ 022-222-6147	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10
広島支店 L M営業課	☎ 082-244-3749	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お持込み窓口

北海道サービスセンター	☎ 011-513-5036	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎ 022-236-0249	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 044-434-3100	〒211	川崎市中原区木月1184
東京サービスステーション (お持込み修理窓口)	☎ 03-5488-6625	〒108	東京都港区高輪2-17-11
浜松サービスセンター	☎ 053-465-6711	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
大阪サービスセンター	☎ 06-877-5262	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 0878-22-3045	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
広島サービスセンター	☎ 082-874-3787	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎ 092-472-2134	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎ 053-465-1158	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内

※ 1995年5月1日現在

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。

YAMAHA

ヤマハ株式会社
●音響システム事業部 営業部 ☎053-460-2455
〒430 浜松市中区中町10-1